

チー ム 身 延



身延町立身延小学校
Tel 0556-62-0066
Fax 0556-62-0368

学校の理念：「すべての子どもに笑顔があふれる学校を・・・」

風で感じる自然からのお便り！

この時期は、高気圧と低気圧が交互に訪れ、ポカポカ陽気かと思いきや一転、思わぬ冷え込みや強風が吹くことがあります。もう降らないと油断していると、冬の置き土産（雪）も・・・まさに三寒四温、体調を崩しやすい時期です。この頃に吹く風も強弱や寒暖によって様々な呼び方をしますね。「穏やかな温かい風（春風）」、「（万物を成長させる恵の風（恵風）」。一方、「低気圧が日本海を発達しながら進むことで発生する強風を春嵐、春疾風（はるはやて）」といいます。風は季節の移ろいや天候の変化を教えてくれる自然からの便りですね。

また、麗らかな春の日差しの中をそよ風吹き渡る様子を表す「風光る」という美しい言葉もあります。温かで優しい風に包まれながら、出会いと別れの春ももうそこまでやっています。



身延小 西玄関横に咲く梅の花

児童会役員選挙

児童会役員選挙が1月26日に行われました。5年生が立候補しました。当選したのは3名（児童会長1名、副会長2名）ですが、勇気をもって立候補した皆さんにエールを送りたいと思います。惜しくも当選できなかった人達も、「身延小学校を良くしよう。」という気持ちは同じです。いつまでもその気持ちをもち続けて、1年間過ごしてほしいと願っています。もちろん、5年生28名全ての児童が、身延小学校の顔として全校児童をリードして欲しいと思います。



新旧児童会役員引継式の様子

新児童会役員の紹介 会長：市川杏さん 副会長：氏原かな実さん・田村莉士さん
書記：佐藤好華さん、千頭和美鈴さん 議長：小泉和華さん・深沢寛大さん
以上7名です。

「本というものは、わずか数行でも役に立てば、それだけで十分値打ちのあるものだ。」

歴史学者：津田左右吉

本が成長を後押し！



職員室前の本の紹介コーナー

今年度も家族でのコミュニケーションがより図れることを願い「家族読書」を、お家の方々のご協力のもと行ってきました。ご協力ありがとうございました。また、学校でも図書委員が中心となって、少しでも本に興味をもってもらおうと、児童一人ひとりの紹介文を掲示した「おすすめの本の紹介コーナー」などの取り組みも行っています。読書することで、たくさんの人と出会える経験（疑似体験）もできます。短時間で数々の教を学ぶことができる良さもありますね。生き方や考え方を学ぶ等、有意義な時間を過ごすチャンスにして欲しいと思います。

今年度の卒業アルバムに掲載した文章を抜粋しました。～抜粋「読書のススメ」です。

読書がなぜ大事なのか・・・。

まず第一は、本も生き物であるということです。本はそれぞれの力があって、読む人の心を感動させたり、めずらしい知識をさすけたりします。本に親密に接していけばいくほど、本もそれに見合ったお返しを必ずしてくれます。

第二は、本は人との出会いを作ってくれるということです。私達が一生の間に出会える人の数は知れています。ましてや、師と仰ぐような人との出会いは数えるくらいでしょう。本は、何十人も何百人もの師と合わせてくれます。「本は人なり」という言葉も、そのことを教えています。本は、多くの人たちが経験して得た知識や知恵を伝えてくれます。その出会いによって、一生が決定づけられることまであります。

第三は、偉人達と同じ体験ができます。みなさんは偉人の伝記を読んだことがありますか。伝記を読むことの意義の一つは、彼らがどのようにして夢を実現していったか、いかにして成功をおさめたかを本を読みながらいっしょに体験できることです。過去の偉人は今なお、君達の机のそばに腰をかけ、手を握りしめてくれますよ。

第四は、本は貴重な情報源であるということです。何かを研究し、それをまとめる時も、いろいろな本を読んでおくと大変助かります。本で得た知識がヒントになって、新しい考えが生まれることもあります。読書する人としらない人の差は、人生が進むほど大きくなり、成功している人達の多くが、読書家であることに気づくようになります。だから、まずは読んでみましょう～以上抜粋。私事で恐縮ですが、過去に、仕事の疲れをお風呂で癒やしながら湯船の中で本を読むのが、私にとって至福のひとつときでした。決して褒められた話ではありませんが・・・。

身延小見聞録

1年生の家庭での自主学習の作文に、お店屋さんごっこでの感想を12ページにわたって書いた友達がいました。学校で、発表会を行ったのですが、その子は、家に帰ってクラス全員の発表のいいところをよく見て感じ取って書いていたのです。往々にして、人の悪いところ（欠点）に目がいく場合があります。友達のいいところを見つける目を養っている、あなたはとても素敵ですよ。「我以外、皆我が師なり」です。



1年生：イベント終盤の合唱の様子



スキーレッスンの様子！

5、6年生が1月にスキー教室に行ってきました。

インストラクターはもちろんのこと、出会う全てのスタッフの方々にも気持ちの良い挨拶をしていました。また、スキーブーツを履くのに苦慮している友達に、みんなで助け合って履かせている微笑ましい光景もありました。成長していますね。寒さの中にも、温かさを感じるひとときでした。

こぼれ話

「氷点」で有名な作家、三浦綾子さんは、戦時中、7年間小学校教師として勤務し、教え子を戦争に送ることの矛盾と苦悩から教師の仕事を辞めます。晩年は直腸癌や、脊椎カリエス、心臓発作、パーキンソン病を患い、寝たきりの生活を強いられることとなりますが、印象的だった言葉があります。「人間はね。寝たきりになってもなお人を喜ばせることができます。それは・・・、笑顔であり、ありがとうの一言です。」とおっしゃっていました。

心を込めたあいさつと笑顔、大切にしたいですね！

外国の格言の中に、一怒一老 一笑一少（一度怒ると一つ年をとり、一度笑うと一つ若返る。）という言葉があります。日々、明るく、楽しく、笑顔で過ごせたらいいですね。幸せだから笑顔になるだけではなく、笑顔でいるから幸せになる事もあると思います。これが理想ですね。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急遽、2月に行われる予定だった「授業参観・PTA学年部会」を中止するという苦渋の決断をしなければならませんでした。時間をかけて諸準備をし、子どもたちの成長の様子をご覧いただきただけに、児童や保護者の皆様はもとより、私どもも大変残念でした。ご理解とご協力に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。引き続き、学校でも学習内容を工夫するなどしながら、感染防止対策の徹底を図って参ります。もうすぐ卒業式です。身延小学校 校長 片田幸樹

